

生活・自立支援キャンプ事業 子ども生き生き体験学習③

- 1 趣 旨 児童養護施設で生活する子供たちを対象に、自然体験及び生活体験の活動を通して生活・自立を支援するとともに、子供たちの基本的な生活習慣の確立を目指す。
- 2 期 日 令和元年8月26日（月）～27日（火）1泊2日
- 3 対 象 者 児童養護施設で生活する小・中学生
- 4 募集定員 なし
- 5 参 加 者 13人（小学生8人 中学生2人 施設指導者3人）
- 6 指 導 者 国立大隅青少年自然の家職員
- 7 日 程

8月26日（月）	8月27日（火）
11:30 出合いのつどい	6:00 起床・清掃
12:00 昼食	6:50 朝のつどい・ラジオ体操
13:30 カヌー体験	7:30 朝食
17:00 夕食作り（バーベキュー）	8:30 スポーツクライミング
20:00 遊びリンピック	10:00 漁船乗船体験・カンパチ餌やり体験 （鹿屋市漁業協同組合と連携）
21:00 就寝	12:00 昼食
	13:00 別れのつどい

8 事業運営上の配慮

- （1）体験格差の解消を目指し、自然体験や外部機関と連携した活動を積極的に取り入れた。
- （2）夏休み期間は生活のリズムが崩れやすいことから、21時就寝、6時起床、7時30分朝食といったプログラムを組み、早寝・早起き・朝ごはん運動の一助とした。

9 参加者の感想

- 火おこし、カンパチの餌やり、カヌー体験など、本当に学ぶことがたくさんでした。子供達の色々な面にも気づくことができて良い機会でした。本当にありがとうございました。
- みんなと一緒にバーベキューをしたことや、カンパチに餌をあげたことが楽しかったです。
- スポーツクライミングやバーベキュー、みんなのできる活動がたくさんあってとても楽しかったです。

10 成 果

- 施設職員との事前打合せ等の中で、本事業の目的と内容について共通理解を図ったことから、子供たちの実態を考慮した活動を実施することができた。
- カヌー体験や夕食作りはみんなで協力して活動できたことから、協調性の涵養につながった。

